

5章
區別計画

西区

面積 2,914ha 人口 82,825人 (平成17年4月)

緑の現況

西には広大な緑の空間を抱える荒川やびん沼川、東には桜並木の鴨川が巡っています。荒川周辺の低地には水田を主とする農地や集落が広がっています。台地上には住宅地が形成されていますが、北部の中釘から西新井一带は、雑木林・屋敷林・農地が混在する緑の濃い地域となっています。また、神社仏閣など地域固有の歴史・文化資源も多く残されています。都市公園は、三橋総合公園・宝来運動公園・秋葉の森総合公園・西遊馬公園・鴨川みずべの里などが整備されています。



荒川



荒川周辺の農地



びん沼川



清河寺



西新井ふるさとの緑の景観地



屋敷林



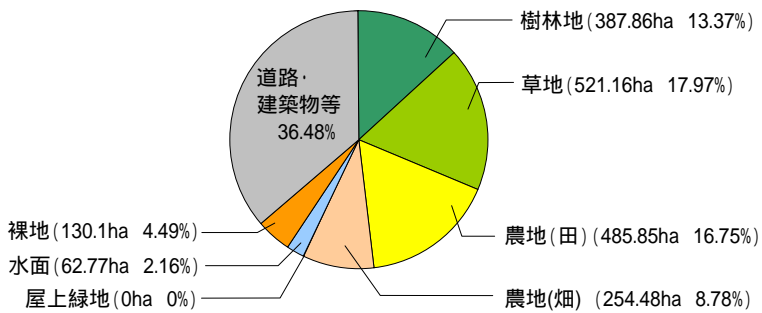
大宮花の丘の農林公苑



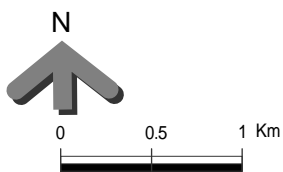
三橋総合公園

緑の現況

緑被地面積・緑被率
 1,842.22ha 63.52%
 区民1人当たりの都市公園面積
 4.66m²/人



緑被分布図





緑の将来目標

- 荒川と周辺の自然環境を守り、育てます。
- まとまりのある緑の保全と活用に努めます。
- 歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。
- 公共公益施設や民有地の緑化を進めます。
- 緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・秋葉の森総合公園
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

荒川と周辺の緑の保全・活用

- ・錦乃原桜草園のサクラソウなどの貴重な自然環境の保全・復元に努めます。
- ・広域的なエコロジカル・ネットワークの拠点を目指します。
- ・高規格堤防や調節池などの整備を検討します。
- ・荒川周辺の農地を市全体の環境を支える場として保全に努めます。
- ・鴨川の水辺や桜並木などの保全に努め、調節池を含めて活用を進めます。
- ・びん沼川の自然環境の保全・活用を進めます。

まとまりのある緑の保全・活用

- ・武蔵野の面影を残す中釘・西新井地区一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全と活用を目指し、緑地保全地域などの指定を検討します。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・清河寺などの社寺林・大塚古墳などの歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・大宮西部地区では、土地区画整理事業により滝沼川を軸とした緑豊かなまちなみづくりに努めます。
- ・指扇駅・新駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・学校などの公共公益施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・事業所や住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

緑と水のネットワークづくり

- ・鴨川・滝沼川・新川・江川排水路などの水辺を軸として、周辺の公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

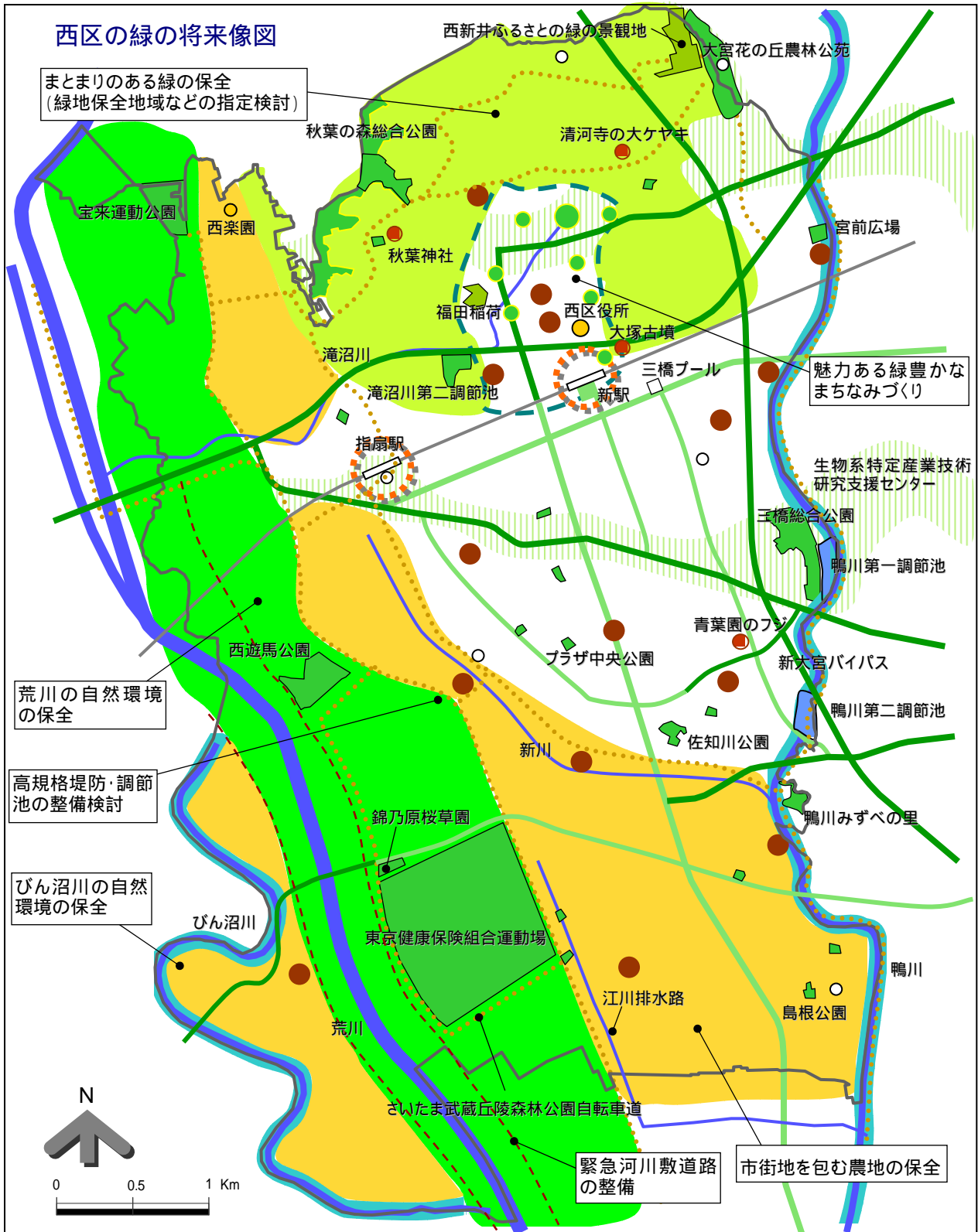
市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。

用語解説

- ネットワーク (P175)
- エコロジカル・ネットワーク (P172)
- 高規格堤防 (P173)
- 調節池 (P174)
- 緑地保全地域 (P176)
- 保存緑地 (P176)
- 自然緑地 (P173)
- 都市林 (P175)
- オープンスペース (P172)
- 土地区画整理事業 (P175)
- 保存樹木 (P176)
- コミュニティガーデン (P173)

西区の緑の将来像図



まとまりのある緑の保全
(緑地保全地域などの指定検討)

荒川の自然環境の保全

高規格堤防・調節池の整備検討

びん沼川の自然環境の保全

魅力ある緑豊かなまちなみづくり

緊急河川敷道路の整備

市街地を包む農地の保全

凡例			
	荒川シンボル軸		主な公園緑地など
	緑の骨格軸		(計画・構想)
	低地部の広がりのある農地		条例などによる緑地
	武蔵野の面影を継承する緑		主な歴史・文化の緑
			花と緑の駅
			緑の帯
			街路樹・歩道などを備えた主な道路 (計画)
			学校
			直売所
			主な公共公益施設
			歩行者ネットワーク

北区

面積 1,691ha 人口 132,468人 (平成17年4月)

緑の現況

東には見沼田圃が広がり、西には鴨川、中央部には鴻沼川が流れています。区域の大部分は市街地で、鉄道沿線一帯は緑の少ない状況となっています。北区の緑の大きな特色として、風致地区に守られた盆栽文化を内外に伝える盆栽村があり、緑豊かなまちなみを形成しています。また、鴨川沿いの斜面林に湧く清水である三貫清水や市民の森があり、市民に親しまれています。都市公園は、北部では土地区画整理事業により整備されていますが、中央から南部にかけては計画的な整備が必要です。



見沼田圃



芝川



三貫清水緑地



盆栽村



しましま公園



市民の森



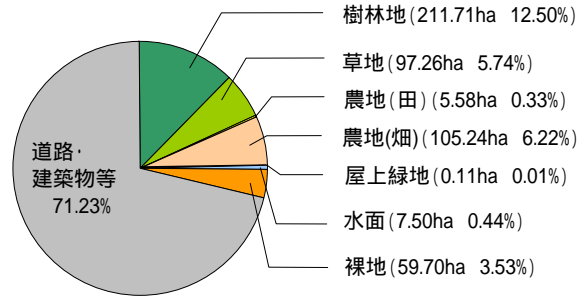
宮原駅前のサクラ並木



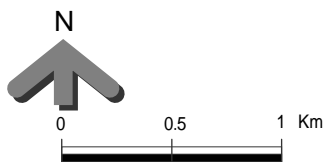
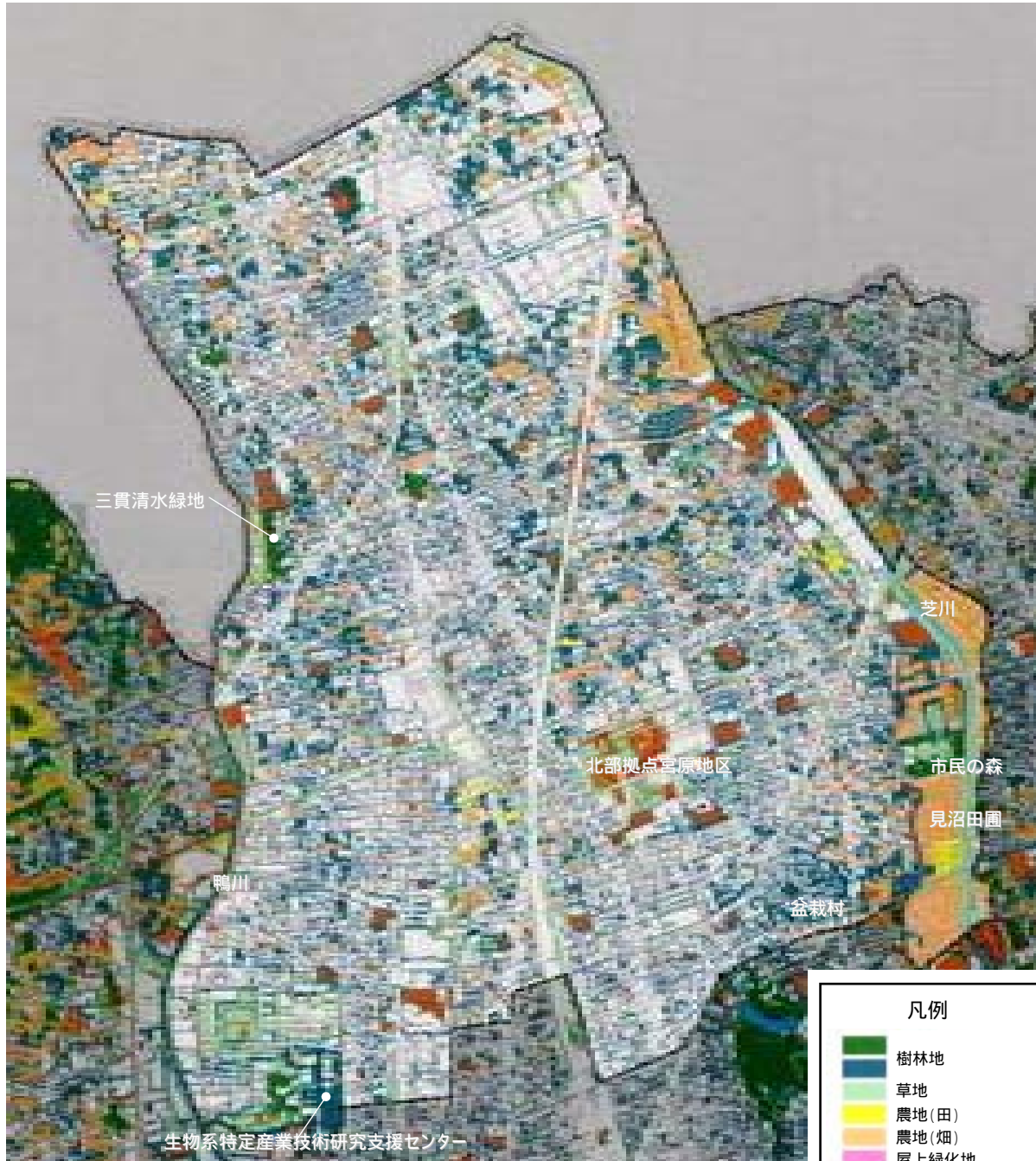
宮原駅駅前広場

緑の現況

緑被地面積・緑被率
487.10ha 28.77%
区民1人当たりの都市公園面積
2.35㎡/人



緑被分布図



凡例	
	樹林地
	草地
	農地(田)
	農地(畑)
	屋上緑化地
	水面地
	裸地
	区界
	行政界
	市街化区域界



緑の将来像 歴史と文化を伝える緑につつまれた、住みつづけたいまち

緑の将来目標

- 見沼田圃・芝川・鴨川・鴻沼川の緑の保全と強化に努めます。
- 盆栽村を世界に誇れる盆栽文化の拠点として保全・継承します。
- 公共公益施設や民有地の緑化を進めます。
- 歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。
- 緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・番場公園
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

見沼田圃や鴨川一帯の緑の保全と活用

- ・見沼田圃と周辺斜面林の保全に努め、自然・農業とのふれあい・体験の場として活用します。
- ・三貫清水緑地をはじめとする鴨川周辺の斜面林の保全と活用に努めます。

盆栽村の緑のまちなみの保全・継承

- ・氷川神社からつながる盆栽村の緑のまちなみの保全・育成に努めます。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・宮原駅・日進駅・土呂駅・大宮公園駅・加茂宮駅・東宮原駅・今羽駅・吉野原駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・生垣の助成など住宅地の緑づくりを支援します。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・区役所や学校などの公共公益施設では、屋上緑化・壁面緑化を含めた多様な緑化に努めます。
- ・北部拠点宮原地区や日進東地区では、魅力ある緑豊かなまちなみづくりを進めます。
- ・生物系特定産業技術研究支援センターの緑の保全と開放を働きかけます。
- ・工業団地や事業所の緑の保全と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

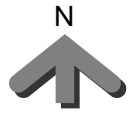
緑と水のネットワークづくり

- ・見沼田圃・鴨川・鴻沼川などの水辺を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。
- ・鉄道沿線の緑化を促進します。

市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。

北区の緑の将来像図



凡例			
	見沼田圃シンボル軸		主な公園緑地など
	緑の骨格軸		(計画・構想)
	風致地区		条例などによる緑地
			主な歴史・文化の緑
			花と緑の駅
			緑の帯
			街路樹・歩道などを備えた主な道路 (計画)
			学校
			直売所
			主な公共施設
			歩行者ネットワーク